

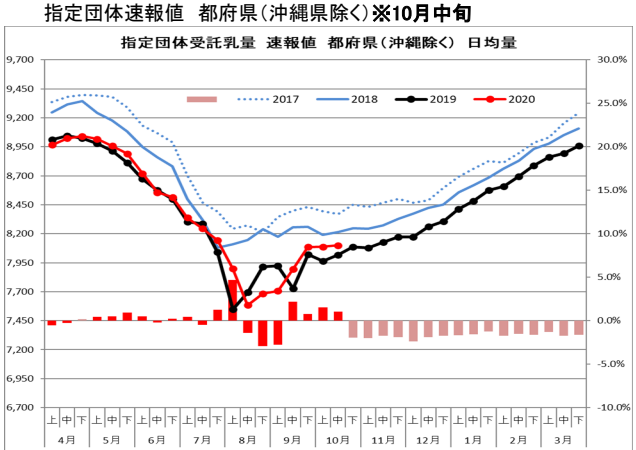
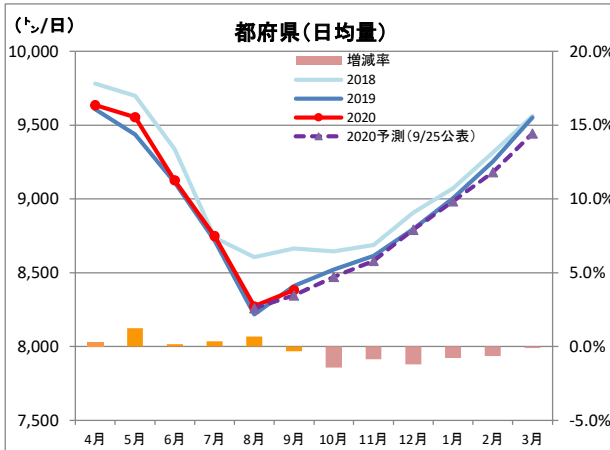
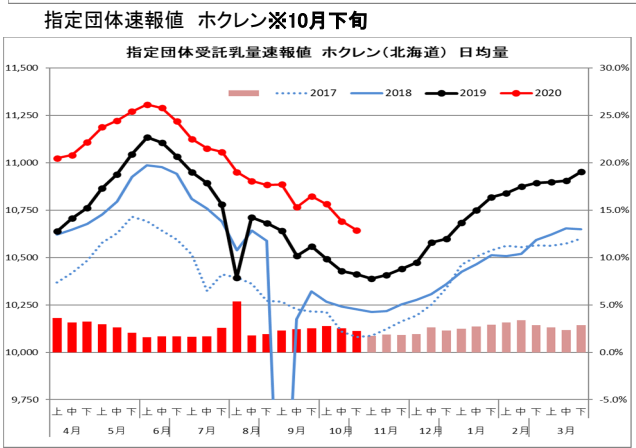
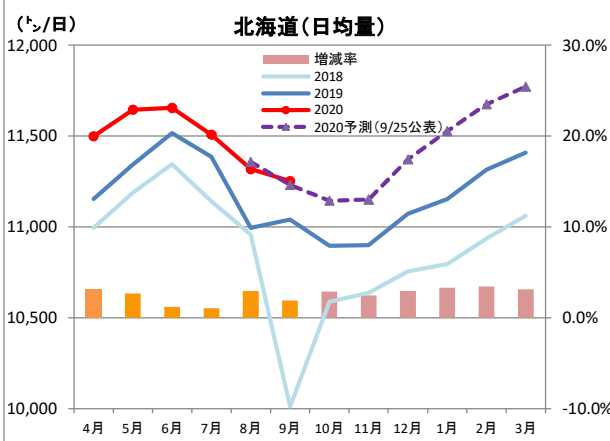
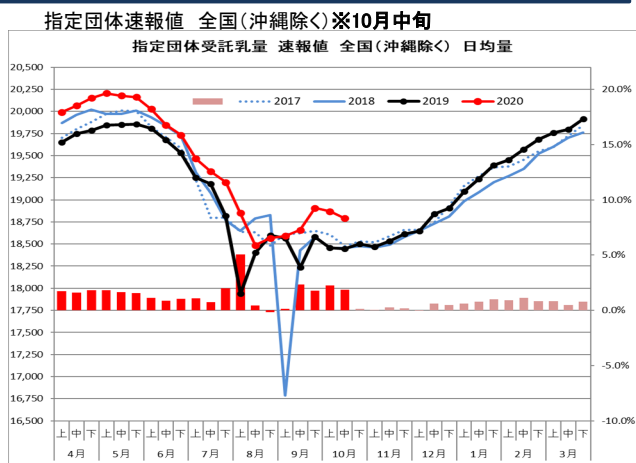
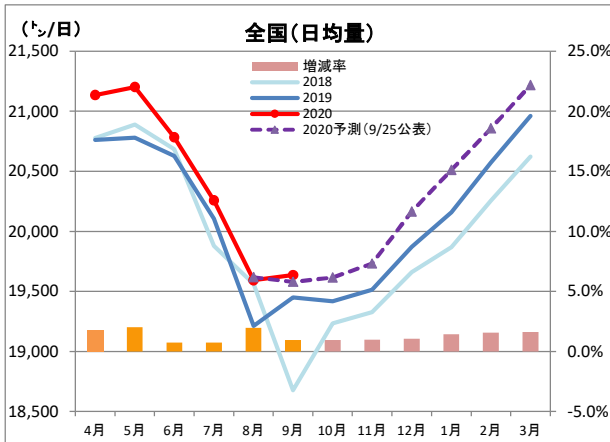
Jミルクが2020年9月25日に公表した「需給見通し(※2020年7月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。毎月25日の「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も随時、配信していきます。発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《生乳需給は緩和傾向が続く恐れ～今後の生乳需給について～》

- ・9月の需給実績については、中旬以降の気温の低下によって都府県の生産量が徐々に回復するとともに、これまで巣籠需要等で好調だった牛乳の家庭内消費も落ち着いてきたことから、都府県需給のひっ迫度は徐々に弱まって推移した。
- ・脱脂粉乳・バターの出回り量については、前年と同水準まで回復したものの、在庫は引き続き高い水準となっている。なお、「GoToキャンペーン」が実施されているところであるが、外出需要が完全回復していないことやインバウンド需要が喪失していることから、業務用需要の大幅な回復は難しいものと考えられる。
- ・直近(10/26週)の牛乳の家庭内消費については、前週(10/19週)から伸び率が拡大したが、飲用不要期となる冬期の需給緩和が懸念されることであり、業界としては引き続き積極的な需要拡大に取り組むことが重要となる。また、家庭用バターについては、引き続き好調な販売状況となっていることから、最需期となる年末の安定供給に向けた対応が求められるところである。
- ・なお、5月以降、前年割れが続いてきた出生頭数は、8月になって前年同月比でプラスになったことから、生乳増産が今後さらに進む可能性がある。また、そのうち、乳用雌子牛の出生頭数は、依然、北海道・都府県ともに前年割れが続いており、2022年以降の生乳生産への影響が危惧されることである。

【生乳生産量】※増減率は、日量で算出。

- (1) 9月の生乳生産量は、全国589千ト(前年同月比100.9%)、北海道338千ト(同101.9%)、都府県252千ト(同99.7%)。
- (2) Jミルク予測値(全国:587千ト、北海道:337千ト、都府県250千ト)から若干上振れして推移している。
- (5) 直近の指定団体速報値によると、全国が同101.9%(10月中旬)、北海道が同102.2%(10月下旬)、都府県(沖縄除く)が同100.7%(10月中旬)。



【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

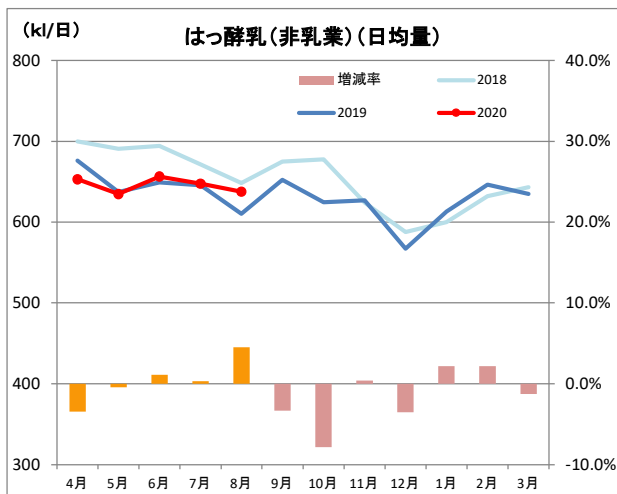
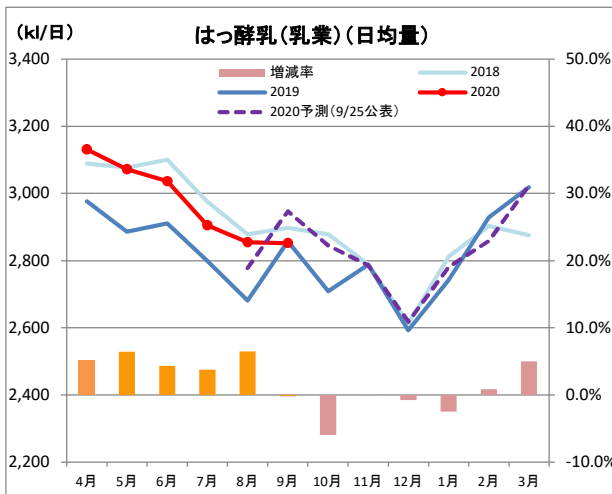
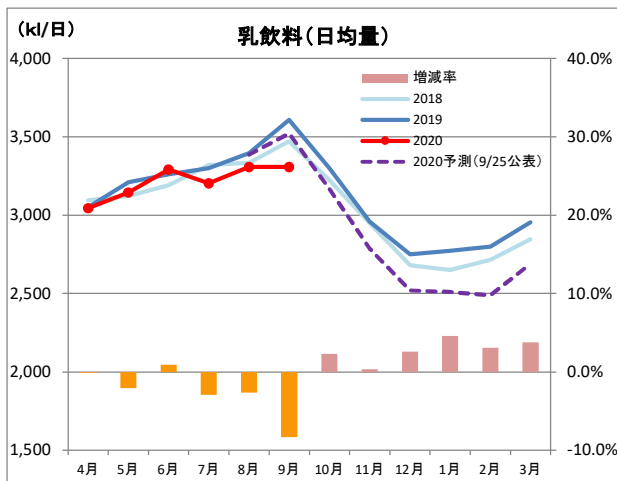
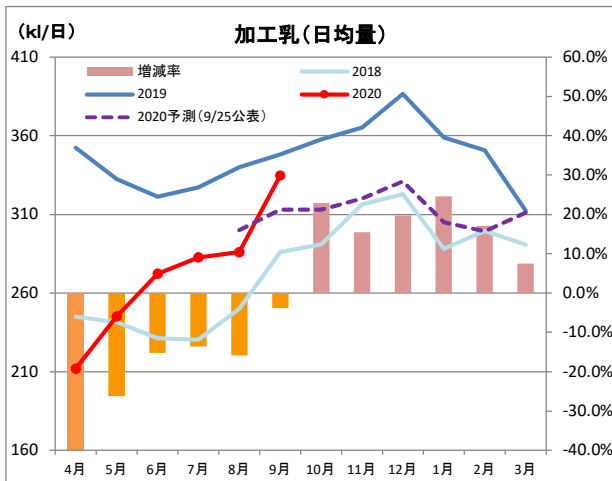
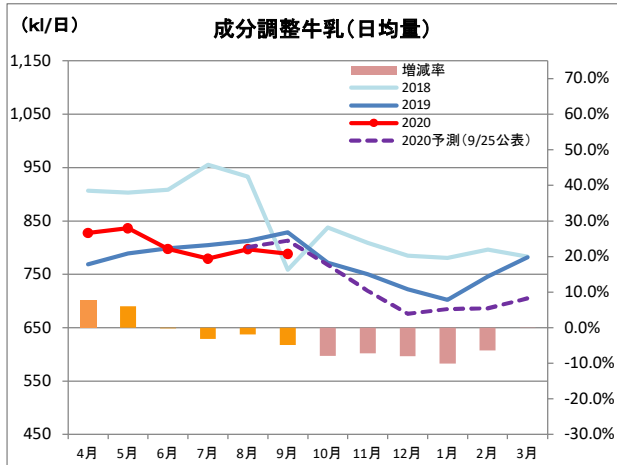
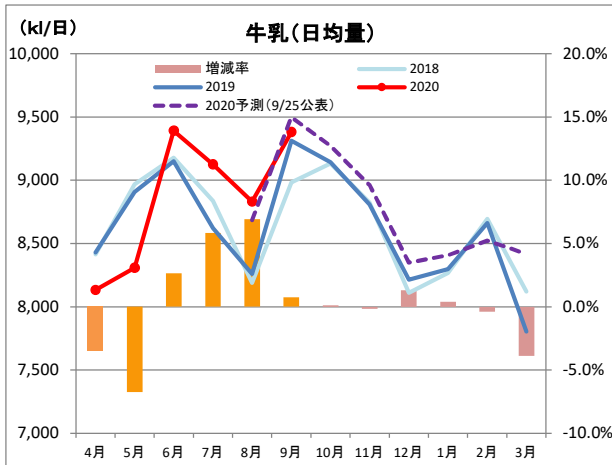
(1)9月の牛乳等生産量は、牛乳281千kl(前年同月比100.7%)、成分調整牛乳24千kl(同95.1%)、加工乳10千kl(同96.2%)、乳飲料99千kl(同91.7%)となり、牛乳類合計では414千kl(同98.0%)となった。

なお、予測値との比較では、牛乳(予測値:285kl)、成分調整牛乳、乳飲料は下振れして推移している。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同101.4%と引き続き前年を上回っている一方、「業務用」は同89.1%と前年を大きく下回っている。

(3)はっ酵乳(乳業)は86千kl(同99.8%)と1月以来の前年割れとなった。非乳業実績(8月)については同106.1%と前年を上回って推移している。なお、はっ酵乳(乳業)は、予測値(88kl)を下振れして推移している。

※はっ酵乳(非乳業)資料:(一社)食品需給研究センター「食品製造業の生産動向」



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)9月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比101.1%、成分調整牛乳:同91.7%、加工乳:同92.3%、乳飲料:同99.7%。

牛乳類では同99.8%と2019年12月以来に前年を下回った。

・販売単価は、牛乳:191.8円、成分調整牛乳:174.9円、加工乳:183.3円、乳飲料:150.6円。

(3)直近(本年8月~)の動向(表②参照)

・直近(10/26週)の販売個数は、牛乳:前年同期比105.7%、成分調整牛乳:同100.9%、加工乳:同90.0%、乳飲料:同97.6%。

牛乳類では同103.6%と再び前年を上回った。

・販売単価は、牛乳:189.6円、成分調整牛乳:173.6円、加工乳:186.1円、乳飲料:150.6円。

・牛乳は伸び率が拡大し、成分調整牛乳は再び前年を上回った。

※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。**データ転用はご遠慮下さい。**

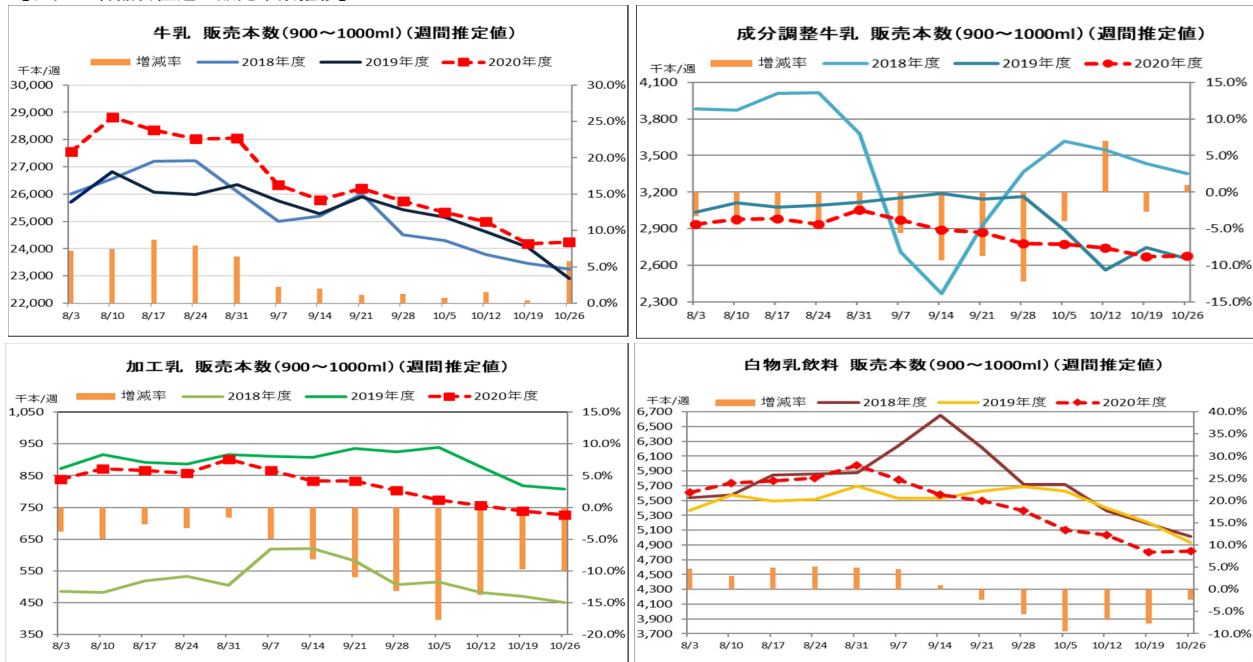
【表① 牛乳類の月別販売動向】

品目	区分	2019/10-	2019/11-	2019/12-	2020/1-	2020/2-	2020/3-	2020/4-	2020/5-	2020/6-	2020/7-	2020/8-	2020/9-
トータル	販売個数	148,298	134,058	136,831	130,706	130,783	148,892	157,820	170,377	157,603	156,578	168,143	153,360
	販売個数前年比	100.8	99.7	100.8	100.8	100.8	107.9	117.0	116.6	107.9	103.9	107.1	99.8
	販売単価	182.4	181.8	182.0	181.8	181.5	182.0	182.7	182.9	182.9	183.1	183.4	183.7
牛乳	販売個数	108,225	97,871	101,065	96,416	96,544	110,562	117,643	127,232	117,433	116,239	125,559	112,972
	販売個数前年比	102.6	100.2	100.0	101.4	107.7	109.1	119.2	119.1	110.1	105.8	109.0	101.1
	販売単価	190.2	189.7	189.4	189.4	189.1	189.3	189.9	190.3	190.3	190.7	190.9	191.8
成分調整牛乳	販売個数	12,364	11,490	11,514	11,016	11,040	12,526	13,231	13,978	12,662	12,597	13,197	12,509
	販売個数前年比	80.7	82.0	80.7	82.5	87.6	87.5	109.4	109.4	100.4	95.3	97.2	91.7
	販売単価	173.8	172.9	173.0	172.9	172.6	173.5	173.7	174.8	175.2	175.1	175.1	174.9
加工乳	販売個数	3,871	3,321	3,286	3,103	3,064	3,449	3,579	3,933	3,743	3,685	3,820	3,665
	販売個数前年比	178.1	180.9	179.3	178.0	188.6	189.0	108.3	102.7	98.4	93.1	96.9	92.3
	販売単価	183.3	182.6	183.5	182.7	182.1	182.9	184.3	181.3	180.4	181.6	184.7	183.3
乳飲料	販売個数	23,838	21,376	20,966	20,172	20,135	22,356	23,367	25,233	23,766	24,058	25,567	24,214
	販売個数前年比	99.0	102.4	100.8	103.7	109.5	108.8	112.5	111.3	103.3	101.7	105.4	99.7
	販売単価	151.4	150.3	150.5	149.9	150.0	150.4	150.9	150.8	150.7	150.8	150.4	150.6

【表② 牛乳類の販売動向(直近の動向)】

品目	区分	8.3-	8.10-	8.17-	8.24-	8.31-	9.7-	9.14-	9.21-	9.28-	10.5-	10.12-	10.19-	10.26-
トータル	販売個数	36,953	38,409	37,954	37,634	37,975	35,955	35,084	35,404	34,702	33,983	33,528	32,387	32,456
	販売個数前年比	105.6	105.4	106.8	106.1	105.2	101.7	100.5	99.4	98.6	98.2	100.2	98.6	103.6
	販売単価	183.4	183.8	183.4	183.2	183.7	183.8	183.9	183.5	182.9	182.9	182.8	182.8	182.4
牛乳	販売個数	27,566	28,821	28,343	28,033	28,043	26,330	25,782	26,204	25,751	25,337	24,992	24,171	24,237
	販売個数前年比	107.2	107.5	108.7	107.9	106.4	102.3	102.0	101.1	101.3	100.8	101.5	100.4	105.7
	販売単価	191.0	191.2	191.0	190.9	191.7	192.0	192.2	191.4	190.7	190.3	190.2	190.0	189.6
成分調整牛乳	販売個数	2,935	2,976	2,982	2,939	3,052	2,974	2,891	2,868	2,780	2,774	2,744	2,671	2,679
	販売個数前年比	96.7	95.6	97.0	95.0	97.8	94.4	90.7	91.3	87.8	96.1	107.0	97.3	100.9
	販売単価	175.0	175.1	175.0	175.3	175.4	175.4	174.9	174.4	173.4	173.8	173.8	173.7	173.6
加工乳	販売個数	839	872	867	858	902	867	833	833	804	773	757	739	726
	販売個数前年比	96.2	95.1	97.3	96.8	98.4	95.1	91.8	88.9	86.9	82.2	86.3	90.2	90.0
	販売単価	184.0	185.3	184.8	184.0	184.3	183.6	184.3	183.3	184.2	186.1	186.7	185.7	186.1
乳飲料	販売個数	5,612	5,740	5,763	5,804	5,978	5,784	5,578	5,499	5,366	5,099	5,034	4,805	4,814
	販売個数前年比	104.6	103.0	104.9	105.2	104.9	104.5	100.9	97.7	94.4	90.5	93.3	92.3	97.6
	販売単価	150.6	151.0	150.1	150.1	150.6	150.6	150.5	150.6	150.4	150.5	150.6	150.8	150.6

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績







(1)直近(本年8月~)の動向(表④参照)

直近(10/26週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。

(2)ドリンクタイプ、個食タイプは引き続き前年を下回っているものの、大容量タイプは再び前年を上回った。

【表③ ヨーグルト類の販売動向】

品目	8.3-	8.10-	8.17-	8.24-	8.31-	9.7-	9.14-	9.21-	9.28-	10.5-	10.12-	10.19-	10.26-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↓	↘	↘	↘	↘	↘
個食タイプ	→	→	→	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↑	↗	↗	→	→	↗	↗	→	→	→	→	↘	→

 : 前年比90%未満	 : 前年比105%以上110%未満
 : 前年比90%以上100%未満	 : 前年比110%以上120%未満
 : 前年比100%以上105%未満	 : 前年比120%以上

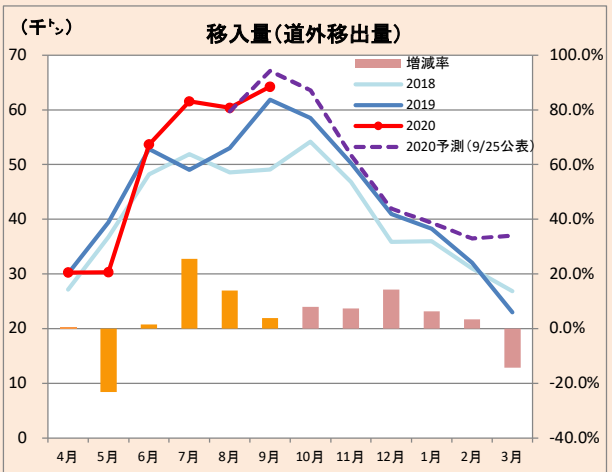
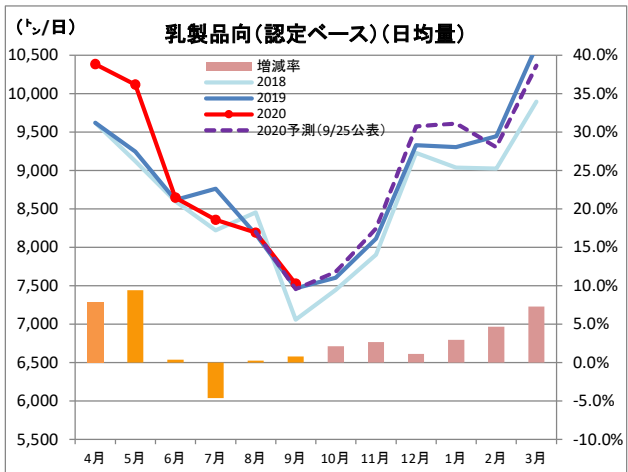
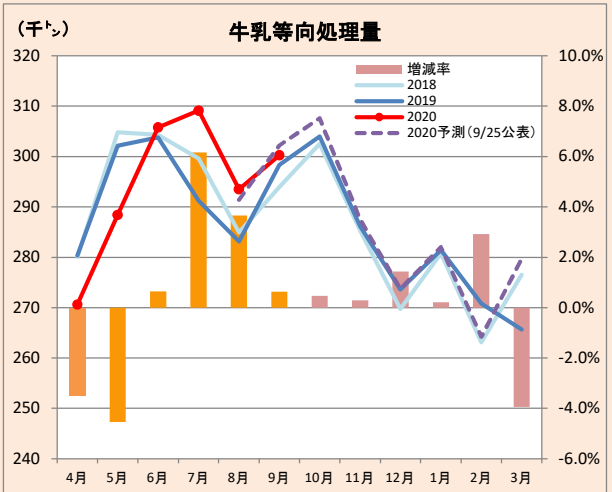
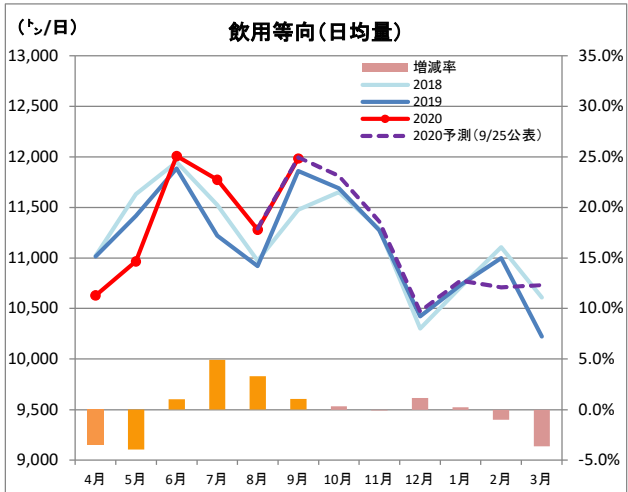
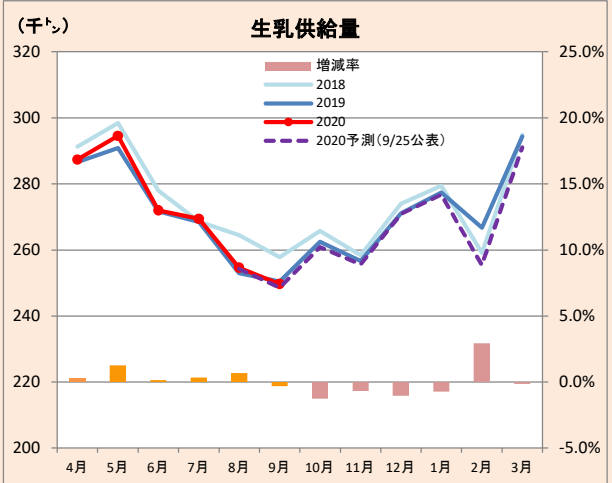
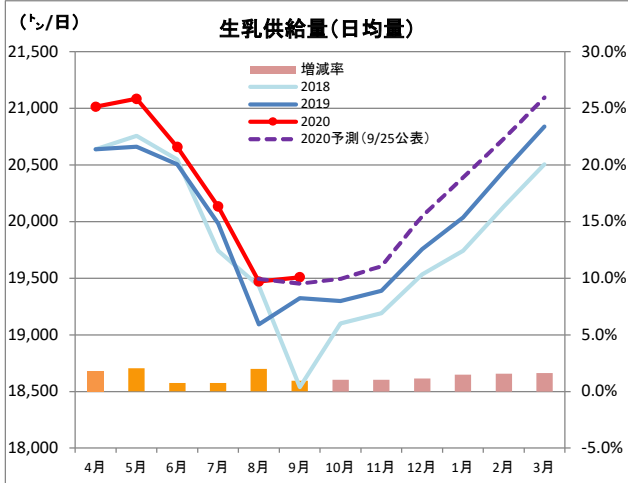
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【用途別処理量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)9月の生乳供給量は585千トン(前年同月比101.0%)、飲用等向360千トン(同101.0%)、乳製品向(認定ベース)226千トン(同100.8%)。
 (2)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:584千トン)、飲用等向(予測値:360千トン)、乳製品向(予測値:224千トン)とも同程度で推移している。

【都府県の生乳需給】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)9月は、生乳供給量250千トン(前年同月比99.7%)、牛乳等向300千トン(同100.6%)。
 (2)北海道からの移入量について、64千トン(同103.9%)と前年を上回った。
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:249千トン)は同程度、牛乳等向(予測値:307千トン)、北海道からの移入量(予測値:67千トン)は下振れして推移している。



【脱脂粉乳・バター需給】 ※増減率は、日均量で算出。

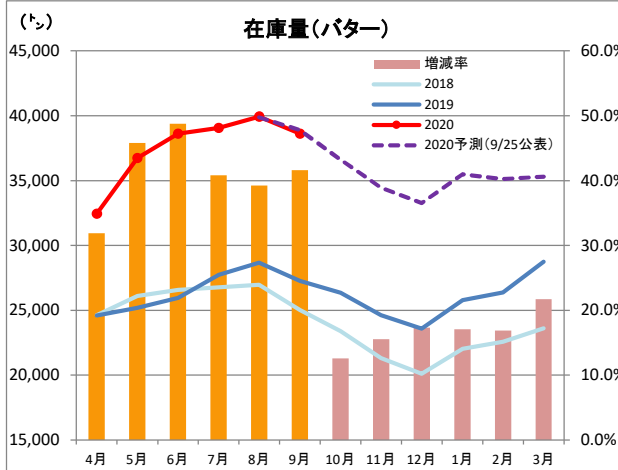
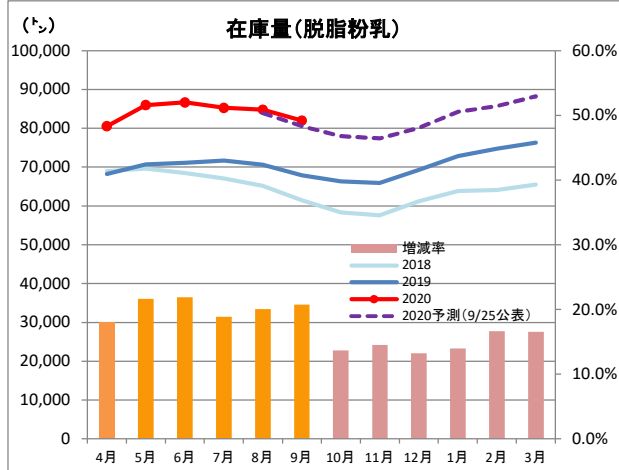
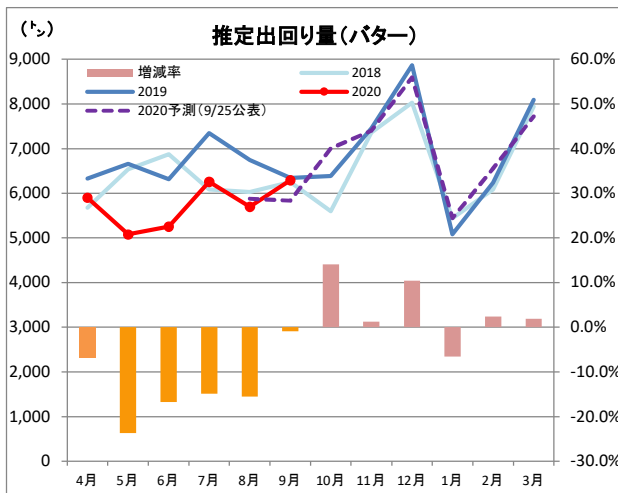
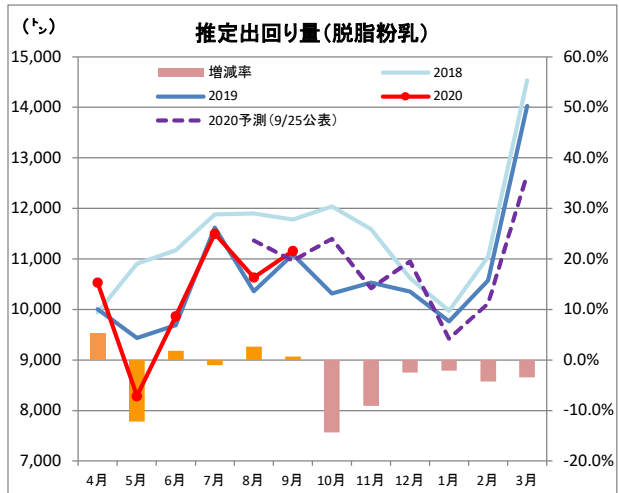
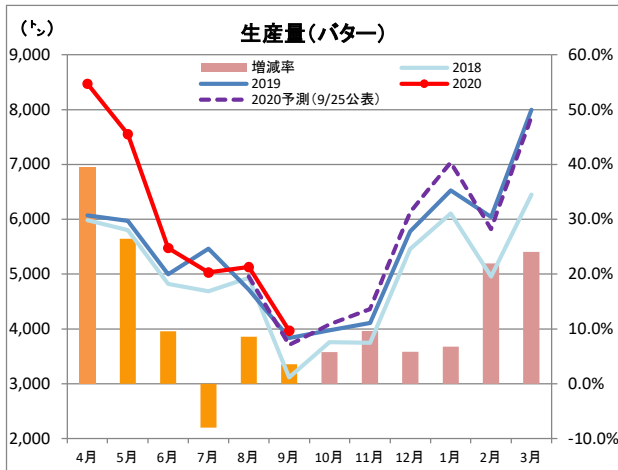
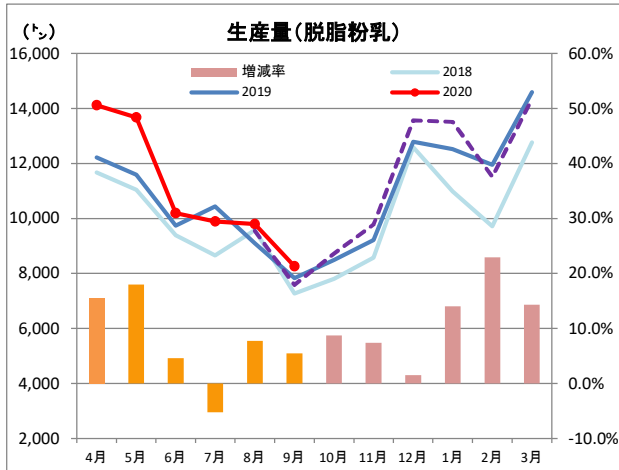
(1) 脱脂粉乳は、9月の生産量は8.3千トン(前年同月比105.5%)、推定出回り量は11.2千トン(同100.7%)、その結果、在庫量は82.0千トン(同120.7%)。推定出回り量(≒需要量)は前年並みで推移している。

なお、予測値との比較では、生産量(予測値:7.6千トン)は上振れ、推定出回り量(予測値:11.0千トン)は同程度、在庫量(予測値:80.6千トン)は上振れで推移している。

(2) バターは、9月の生産量は4.0千トン(同103.6%)、推定出回り量は6.3千トン(同99.1%)、その結果、在庫量は38.6千トン(同141.6%)。

推定出回り量(≒需要量)は前年に近い数字まで回復した。

なお、予測値との比較では、生産量(予測値:3.7千トン)、推定出回り量(予測値:5.8千トン)はやや上振れしているが、在庫量(予測値:39.0千トン)は同程度で推移している。



【乳用種からの出生頭数動向 速報値】

(1)2020年度8月までの乳用種からの出生頭数(乳用種雄・雌・交雑種)をみると、北海道は前年並み、都府県は前年を若干下回って推移している。
 (2)乳用種雌牛については、8月末累計で全国では前年比96.2%、北海道：同97.1%、都府県：93.3%と前年を下回って推移している。
 (3)交雑種について、8月末累計で全国では110.6%と前年を大きく上回っており、初生とくの販売価格下落の一要因となっていると考えられる。
 ※家畜改良センターの速報値。

全国

月	合計	前年比	乳用種オス	前年比	乳用種メス	前年比	交雑種	前年比
4月	53,496	105.3%	12,191	92.4%	19,086	101.2%	19,187	119.1%
5月	47,667	93.8%	10,812	82.0%	17,516	91.1%	16,160	103.7%
6月	54,637	99.2%	12,794	89.8%	19,778	96.1%	18,841	109.4%
7月	64,212	97.7%	15,317	88.9%	22,502	94.3%	22,791	106.9%
8月	69,051	103.1%	16,193	93.9%	23,644	98.3%	25,219	113.5%
	289,063	41.1%	67,307	38.4%	102,526	40.4%	102,198	43.0%
	4-8月比	99.9%		89.6%		96.2%		110.6%

北海道

月	合計	前年比	乳用種オス	前年比	乳用種メス	前年比	交雑種	前年比
4月	34,932	101.0%	9,561	89.4%	15,016	99.2%	9,251	117.6%
5月	33,180	94.4%	8,995	83.3%	14,307	92.4%	8,738	109.0%
6月	36,457	104.0%	10,206	94.6%	15,350	99.0%	9,804	123.9%
7月	40,333	101.0%	11,561	92.7%	16,718	96.7%	10,808	119.4%
8月	40,735	103.9%	11,681	97.1%	16,681	98.3%	11,009	121.5%
	185,637	43.7%	52,004	40.8%	78,072	42.4%	49,610	49.1%
	4-8月比	100.9%		91.6%		97.1%		118.4%

都府県

月	合計	前年比	乳用種オス	前年比	乳用種メス	前年比	交雑種	前年比
4月	18,564	114.5%	2,630	105.3%	4,070	109.3%	9,936	120.6%
5月	14,487	92.3%	1,817	75.8%	3,209	85.6%	7,422	98.0%
6月	18,180	90.8%	2,588	74.6%	4,428	87.2%	9,037	97.1%
7月	23,879	92.5%	3,756	79.1%	5,784	88.1%	11,983	97.7%
8月	28,316	102.0%	4,512	86.6%	6,963	98.1%	14,210	108.0%
	103,426	37.1%	15,303	32.2%	24,454	35.2%	52,588	38.6%
	4-8月比	98.0%		83.5%		93.3%		104.1%

【家畜販売価格動向】

(1)10月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は728千円(前年同期比102.5%)、育成牛価格は374千円(同109.7%)、和牛素牛(去勢)価格は712千円(86.6%)、F1素牛(去勢)価格は397千円(同79.9%)、F1初生(雄)価格は115千円(44.2%)。
 (2)上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛：同90.8%、育成牛：同102.7%。また、和牛素牛(去勢)：同94.8%は前年を下回ったが、F1初生(雄)：同104.3%、F1素牛(去勢)：同116.6%と前年を上回った。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値 (<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

